

オリンピック協賛競輪ユニフォーム デザインについて

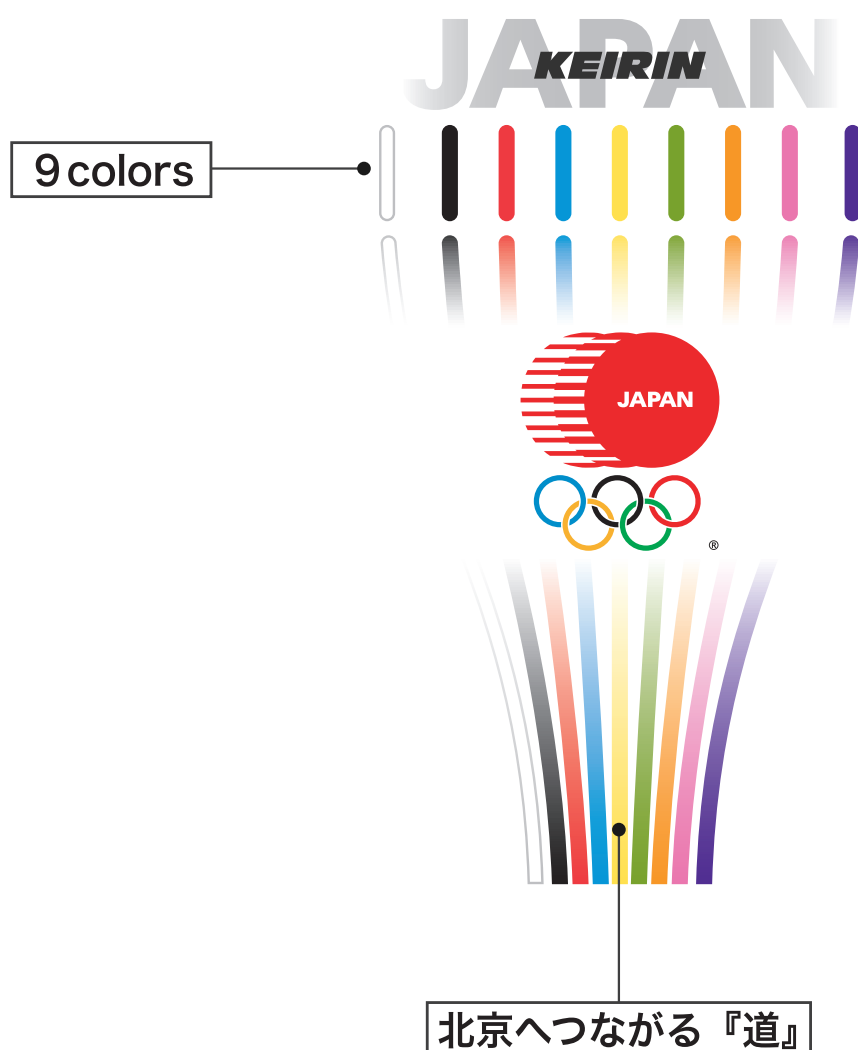
■ デザインコンセプト

KEIRINは、世界が認めるインターナショナル**SPORTS**であるということ。この、国内でなかなか広がらない既成事実を、競輪ファンのみならずスポーツを愛する人々に伝えることを第一の目的に、誰もが受け入れ易い、白を前面にあしらった明るいイメージのデザインをほどこした。これまでの競輪のビッグレースのユニフォームデザインに多々見られた、ドメスティックな表現（例えば炎や龍をイメージする図柄など）は避け、なるべく単純な幾何形態をモチーフとしたのもそうした思いからである。

デザインの基本テーマは、「**9 colors**」と北京への「**道**」。

1レース、1 colorを身にまとう競輪選手たちの熱き想い、執念が、9つの色に分かれ**点から線**になって変化する競輪レースの醍醐味をそのままデザインするとともに、それが**北京へと通ずる「道」**でもあることを集合する線の形状により表現した。

■ 基本テーマ



■ ユニフォーム9色展開



■ デザイナープロフィール

長濱 雅彦

プロダクトデザイナー

東京芸術大学美術学部デザイン科助教授

東京芸術大学デザイン科修士課程修了後、「日経デザイン」誌での記者活動を経て、長濱デザインオフィスを設立。デザインコンサルティングやプロダクトデザイン（PRGRゴルフクラブデザインetc.等）を中心に業務を行っている。

取手競輪アートプロジェクト、メディアボード及び送迎バスのデザイン。

開設56周年記念競輪 第一回水戸黄門賞の広告ツールデザイン。

グッドデザイン賞等受賞多数。

現在グッドデザイン賞審査委員及び、東京デザインマーケット選定委員。日本デザイン学会会員。



取手競輪アートプロジェクト / 取手競輪



開設56周年記念競輪 第一回 水戸黄門賞広告ツール / 取手競輪